

TZ 〈ほんの窓〉

第 39 号 〈2016.4〉 一橋大学附属図書館高本善四郎氏助成図書コーナー「本の紹介」班



アカデミック・ スキルズ 2016

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

これから始まる大学での学びは、高校までとどう違うのでしょうか？

解くべき問題や課題が目の前にあって、解法を学びながら正解を導く、これが高校までの学びの中心だとすると、大学では解くべき課題そのものを自ら考えることが求められます。

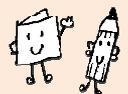
自分で設定した課題に対して、様々な文献や情報を検索・入手し、自分の考えを整理した上で、他者に向けて発信する。これが、大学での学びです。

こうした学びに必要な技能は、「アカデミック・スキルズ」と呼ばれています。

このリーフレットでは、大学に入学された皆さんの自律的な学修をお手伝いするため、特に「調べる」「読む」「文章を書く」「発表する」といったアカデミック・スキルズに関する本をご紹介します。

(【 】内は、附属図書館請求記号)

1. まずはこれを読もう！～「アカデミック・スキルズ」ここから編～



●『学問の技法』橋本努著. 筑摩書房, 2013【0020:183】

筆者の実体験を踏まえた「いろんな学びの技術」。「知的に生きるためのヒント」、「情報収集や読書や議論などの基本的なテクニック」、「文章作成の方法」がメイン。

●『アカデミック・スキルズ 大学生のための知的技法入門』佐藤望編著. 慶應義塾大学出版会. 第2版, 2012【0020:181】

ノートの取り方、情報の探し方、レポート・論文の書き方など、自分で問題を見つけ答えを導き出す「知的生産技法の基本」を解説する。

●『知的複眼思考法：誰でも持っている創造力のスイッチ』苅谷剛彦 [著]. 講談社, 2002【1400:896】

「常識や紋切り型の考え方にとらわれずに、ものごとを考えていく方法」（複眼思考）を解説するテキスト。問いのたてかた、展開のしかた、複数の視点からものごとをとらえる方法などを解説する。

2. 何かを「調べる」ならこれを読もう！～図書館活用、リサーチ編～



●『資料検索入門：レポート・論文を書くために』市古みどり著・編. 慶應義塾大学出版会, 2014【0070:2364】

レポートや論文執筆を行う際に、役立つ情報をどのように調べたらよいかを大学図書館員がまとめた本。

●『大学生のためのリサーチリテラシー入門：研究のための8つの力』山田剛史, 林創著. ミネルヴァ書房, 2011【3700:4019】

「聞く力」、「課題発見力」、「情報収集力」、「情報整理力」、「読む力」、「書く力」、「データ分析力」、「プレゼンテーション力」を養うコツを紹介する。

3. 「読み方」を知るならこれを読もう！～クリティカル・リーディング、速読編～



●『クリティカル・リーディング入門：人文系のための読書レッスン』大出敦著. 慶應義塾大学出版会, 2015【8100:1256】

「どうやって読んだらいいのか」、「感想文ではなぜ駄目なのか」という大学生がぶつかる悩みに、人文系の例題を使って答える。

●『「読む」技術：速読・精読・味読の力をつける』石黒圭著. 光文社, 2010【0100:602】

「速く効率的に読む」、「文章世界に自然に入りこむ」、「深く多面的に読む」ための読解ストラテジーを、8種類に整理して解説する。

4. 大学で「書く」ならこれを読もう！～レポート、論文の書き方編～



●『シカゴ・スタイルに学ぶ論理的に考え、書く技術:世界で通用する20の普遍的メソッド』吉岡友治著. 草思社, 2015【8100:1255】

レポート、研究企画書、論文を書く時に、どうすれば「伝わりやすい文章」を書けるか、解説する。

●『思考を鍛えるレポート・論文作成法』井下千以子著. 慶應義塾大学出版会. 第2版, 2014【8100:1191】

「書いては考える」のサイクルを意識しながら、レポートの書き方、論文の書き方の基本を解説する。

●『論文・レポートの基本：この1冊できちんと書ける！』石黒圭著. 日本実業出版社, 2012【8100:1100】

論文・レポートの書き方がわからない新入生に、論文・レポートが採るべき構成や、「ウソの少ない表現」にするための文章術に焦点を当てて説明する。

5. 「発表する」時にはこれを読もう！～プレゼン編～



●『学生のためのプレゼン上達の方法：トレーニングとビジュアル化』塚本真也, 高橋志織著. 朝倉書店, 2012【3364:429】

プレゼンテーションを通して的確に伝える技術を、文章と実際の訓練によって習得する。

●『研究発表のためのスライドデザイン：「わかりやすいスライド」作りのルール』宮野公樹著. 講談社, 2013【0070:2184】

研究成果を「わかりやすい」スライドを使って説明するための、情報量、デザイン、配色など、実際に役立つルールを簡潔にまとめる。